

●インバータエラー“OC”

モータ過負荷に対する過電流を検出し、エラーを出力します。

●点検箇所

- ① インバータ
- ② モータ端子台

●チェック方法

①モータ地絡の確認

モータ端子台に接続されているU・V・W・E接続線を外し、電源を入れ直し運転。

エラーが解除されるか？確認

(外したモータ線は必ず絶縁処理をしてから確認すること)

解除される→モータの故障(焼損等)

解除されない→②・③・④項へ

②“OC1”(加速時過電流)表示の場合

加速時間を長くし電源を入れ直してエラーが解除されるか確認

解除される→運転状況を見ながら適正值に設定する
解除されない→インバータの故障

加速時間のデータについて
機能(ファンクション)F07
が加速時間の設定ファンクションです。
初期設定値は、“2.5”です。

③“OC2”(減速時過電流)表示の場合

減速時間を長くし電源を入れ直してエラーが解除されるか確認

解除される→運転状況を見ながら適正值に設定する
解除されない→インバータの故障

減速時間のデータについて
機能(ファンクション)F08
が減速時間の設定ファンクションです。
初期設定値は、“3.0”です。

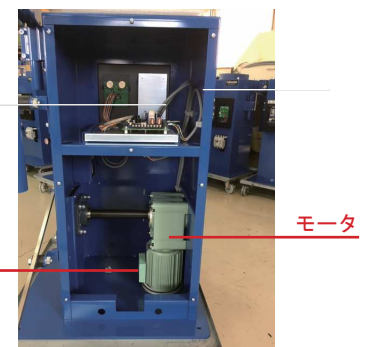
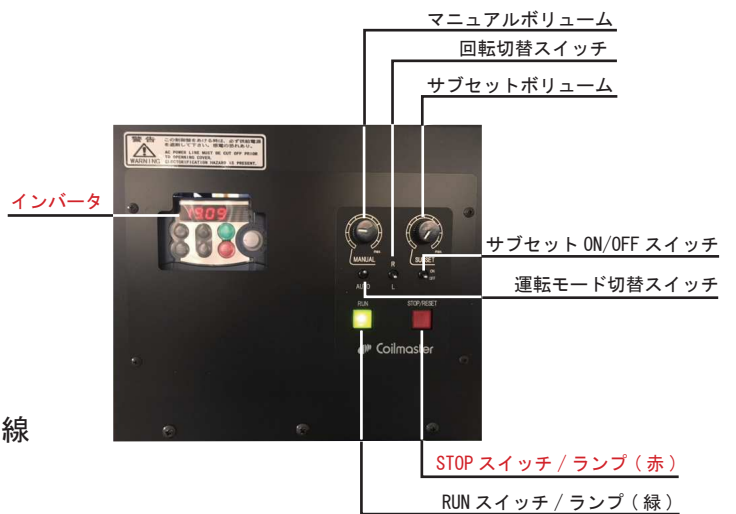
④“OC3”(定速時過電流)表示の場合

電源を入れ直してもエラーが表示される場合は、インバータの故障

右表は加速時間の変更例です。

減速時間の変更は、

F08のデータを変更して下さい。



裏カバーを外した状態



加速時間変更方法

	操作手順	表示例
1	→ 運転モード時	0 . 3
2	PRG RESET を押し、プログラムモードに入る	F 0 0
3	↑ を押し、機能を選択する	F 0 7
4	FUNC DATA を押し、データを表示させる	2 . 5
5	↑ を押し、加速時間を長くする	6 . 0
6	FUNC DATA を押し、データを確定する	6 . 0
7	PRG RESET を2回押し、プログラムモードを解除し、運転モードに戻る	0 . 3